

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー

追加型投信 / 海外 / 不動産投信

月次運用レポート

2012年5月

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、DIAM US・リート・オープン・マザーファンドおよびDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドへの投資を通じ、実質的に日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と比較的高い配当利回りを安定的に獲得することを目標として運用を行います。

主に日本を除く世界各国のリートに実質的に投資します。

各マザーファンドの運用指図に関する権限は、デービス・セレクトド・アドバイザーズ(米国)およびコロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント(豪州)にそれぞれ委託します。

毎月決算を行い、原則として配当等収益を中心に分配を行うことをめざします。

原則として、毎月9日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益を中心に安定した収益分配を継続して行うことをめざします。また、毎年3・6・9・12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

リーートの価格変動リスク... 実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

為替リスク..... 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

金利リスク..... 一般的に金利が上昇するとリーートの価格は下落します。当ファンドは、実質的にリートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク..... 実質的に投資したリートによっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク..... 実質的に投資対象とするリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は7枚ものです。P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

なお、別紙1も併せてご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

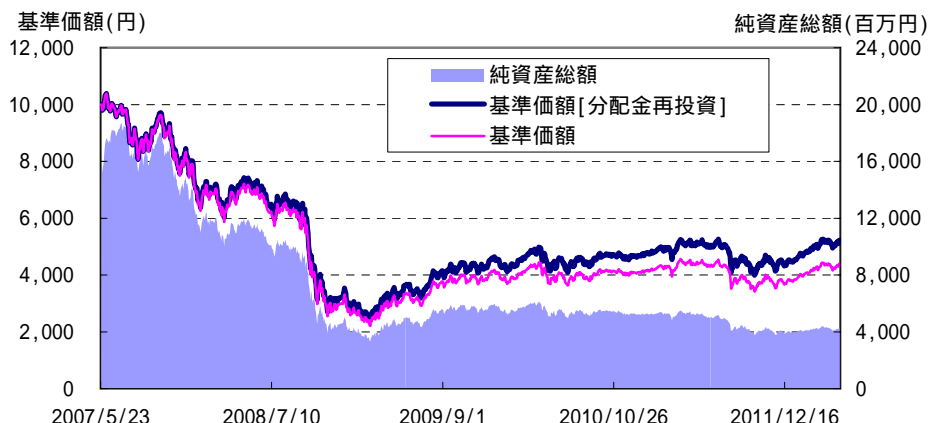
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー
追加型投信 / 海外 / 不動産投信
 月次運用レポート (2012年5月)

運用実績の推移



(設定日：2007年5月24日)

基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

(決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

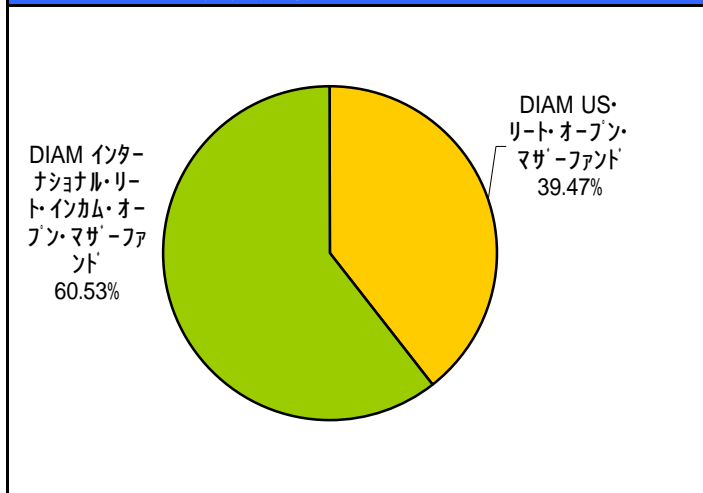
基準価額	4,392 円
解約価額	4,379 円
純資産総額	4,254 百万円

ポートフォリオ構成

不動産投信	93.17%
現金等	6.83%
組入銘柄数	87

比率は純資産総額に対する実質組入比率

マザーファンド組入比率



比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。

国別配分

発行国	組入比率
北米	
米国	35.99%
カナダ	9.37%
計	45.36%
欧州	
ベルギー	1.80%
フランス	5.45%
ドイツ	0.59%
オランダ	3.62%
英国	4.01%
計	15.46%
アジア・オセアニア	
オーストラリア	22.34%
ニュージーランド	1.28%
香港	1.25%
シンガポール	7.48%
計	32.35%
合計	93.17%

比率は純資産総額に対する実質組入比率

騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	1.55%	11.76%	11.15%	-0.03%	5.56%	58.42%

1 当ファンド騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

当資料は7枚ものです。

P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー
追加型投信 / 海外 / 不動産投信
 月次運用レポート (2012年5月)

分配金情報 (税引前)						直近3年分
第24期 (2009.05.11)	10 円	第36期 (2010.05.10)	10 円	第48期 (2011.05.09)	10 円	
第25期 (2009.06.09)	10 円	第37期 (2010.06.09)	10 円	第49期 (2011.06.09)	10 円	
第26期 (2009.07.09)	10 円	第38期 (2010.07.09)	10 円	第50期 (2011.07.11)	10 円	
第27期 (2009.08.10)	10 円	第39期 (2010.08.09)	10 円	第51期 (2011.08.09)	10 円	
第28期 (2009.09.09)	10 円	第40期 (2010.09.09)	10 円	第52期 (2011.09.09)	10 円	
第29期 (2009.10.09)	10 円	第41期 (2010.10.12)	10 円	第53期 (2011.10.11)	10 円	
第30期 (2009.11.09)	10 円	第42期 (2010.11.09)	10 円	第54期 (2011.11.09)	10 円	
第31期 (2009.12.09)	10 円	第43期 (2010.12.09)	10 円	第55期 (2011.12.09)	10 円	
第32期 (2010.01.12)	10 円	第44期 (2011.01.11)	10 円	第56期 (2012.01.10)	10 円	
第33期 (2010.02.09)	10 円	第45期 (2011.02.09)	10 円	第57期 (2012.02.09)	10 円	
第34期 (2010.03.09)	10 円	第46期 (2011.03.09)	10 円	第58期 (2012.03.09)	10 円	
第35期 (2010.04.09)	10 円	第47期 (2011.04.11)	10 円	第59期 (2012.04.09)	10 円	
					累計分配金	815 円

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

組入上位10銘柄				
No	銘柄	国名	用途	比率(%)
1	CFSリテール・プロパティ・トラスト	オーストラリア	小売り	4.40
2	ユニベイル・ロダムコ	フランス	混合型	4.09
3	ミルバック・グループ	オーストラリア	混合型	3.90
4	インベスタ・オフィス・ファンド	オーストラリア	オフィス	2.91
5	サイモン・プロパティ・グループ	アメリカ	小売り	2.41
6	メープルツリー・ロジスティクス・トラスト	シンガポール	工業	2.20
7	ザ・メイスリッチ・カンパニー	アメリカ	小売り	2.15
8	DCTインダストリアル・トラスト	アメリカ	工業	2.09
9	ストックランド	オーストラリア	混合型	2.07
10	アセンダス・リアルエステイト・インベストメント・トラスト	シンガポール	工業	2.04

比率は純資産総額に対する実質組入比率

<p>「FTSE NAREITエクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックス」の著作権について “FTSE”及び“FTSER”は、ロンドン証券取引所(London Stock Exchange Plc)並びにフィナンシャル・タイムズ社(The Financial Times Limited)の商標であり、ライセンスに基づいてFTSEが使用しています。FTSE EPRA/NAREITグローバルインデックス(以下、本指数)は、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSE 又はその関連パートナー会社に与えられています。FTSEは、本指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出又は公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。</p> <p>「S&P/ASX 200プロパティ・トラスト・インデックス」の著作権について スタンダード・アンド・プアーズ(以下「S&P」といいます。)は本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではありません。S&PはS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。</p>
--

当資料は7枚ものです。
 P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

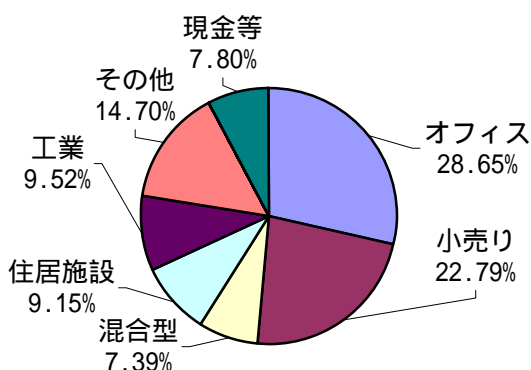
設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



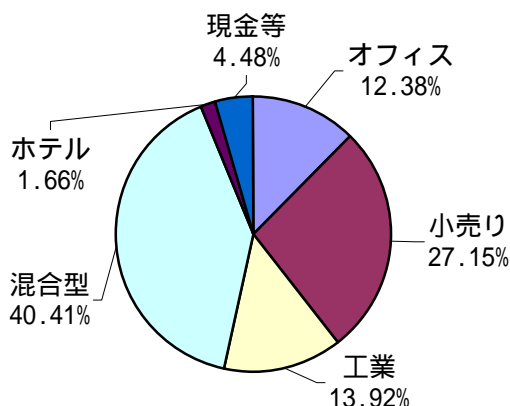
DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー
追加型投信 / 海外 / 不動産投信
 月次運用レポート (2012年5月)

各マザーファンドにおける用途別組入比率 (純資産総額比)

DIAM US・リート・オープン・マザーファンドにおける用途別組入比率



DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドにおける用途別組入比率



用途分類は、運用に関する権限を委託している各投資顧問会社の独自の分類方法によるものです。

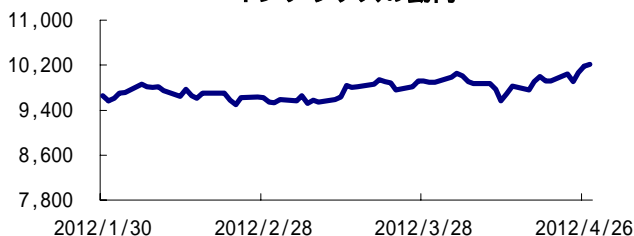
組入リークの配当利回り

当ファンド	配当利回り (%)
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	4.2%
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	6.3%

上記の各マザーファンドの配当利回りは、運用に関する権限を委託している各投資顧問会社により算出された各組入リークの配当利回りを現月月末時点の時価総額のウェイトで加重平均したものです。また、これらの配当利回りを基準日のマザーファンド組入比率で加重平均したものが上記の当ファンドの組入リークの配当利回りとなります。これらは、運用利回りとは異なり、また将来の運用成果等を保証するものではありません。

参考市況動向 (直近3ヵ月)

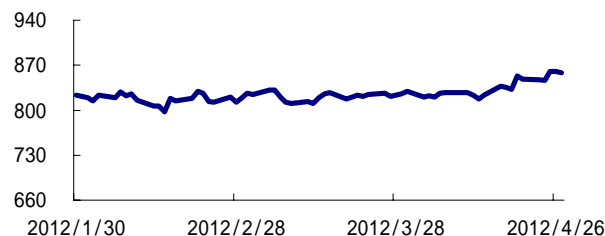
FTSE NAREITエクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックスの動向



FTSE NAREITエクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックスは、FTSEにより公表・算出されている米国の代表的なREITの指数(配当込み)です。

出所：Bloomberg

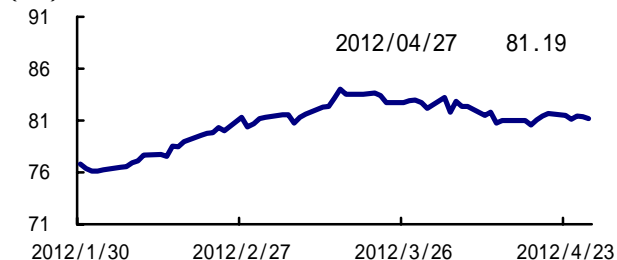
S&P/ASX 200プロパティ・トラスト・インデックスの動向



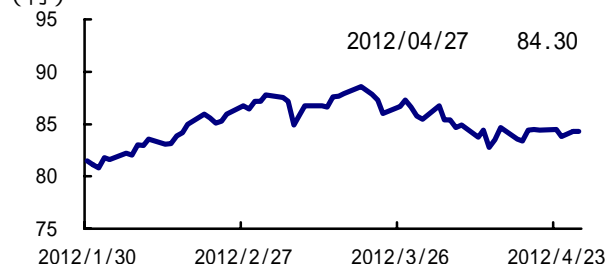
S&P/ASX 200プロパティ・トラスト・インデックスとは、ASX200(オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成される指数)の中の不動産関連証券で構成される指数です。

出所：Bloomberg

<アメリカドル・円>為替レート動向



<オーストラリアドル・円>為替レート動向



為替レートはTTM(東京外国為替市場の対顧客電信仲値)を使用しています。

当資料は7枚ものです。
 P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー
追加型投信 / 海外 / 不動産投信
月次運用レポート (2012年5月)

当月のマーケット動向と当ファンドの動き

4月のリート市場は、スペイン財政に対する不安が高まったことや、フランスとオランダの政局不安が浮上したことなどから下落する局面もありましたが、企業やリートによる決算発表が支援材料となり、前月末比では上昇しました。

米国リート市場

3月の雇用統計において非農業部門雇用者数変化が市場予想を大幅に下回ったことや、欧州債務懸念が再燃したことなどから月半ばに大きく下落する局面もありましたが、一部の主要企業が良好な内容の決算を発表したことや、3月の小売売上高が市場予想を上回ったことなどから、月末にかけて上昇しました。

米国のリートに投資するDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で1.35%上昇しました。

月内の主なオペレーションとして、ボルナド・リアルティ・トラスト(混合型)を買い増しました。

米国以外のリート市場

米国以外の地域については、欧州リート市場を除く地域で上昇しました。

【オーストラリアリート市場】

RBA(オーストラリア準備銀行)が政策金利の据え置きを発表したことは悪材料となったものの、その後、利下げ期待が高まったこと、デクス・プロパティ・グループ(混合型)やウエストフィールド・グループ(小売り)などがバランスシートの強化に向け米国の保有物件の売却を相次いで発表したことが好感され、上昇する展開となりました。

【欧州リート市場】

スペイン国債の入札や利回りの上昇に対する警戒感が高まったことに加え、米国の雇用統計も悪材料となり、月前半に大幅に下落しました。その後、4月のZEW景況感調査やIFO企業景況感指数など、ドイツの経済指標が好調だったことが好感され上昇する局面もありましたが、フランスとオランダの政局不安が浮上したことや、4月のユーロ圏総合景気指数が前月比で低下し市場予想も下回ったことなどを背景に、月後半も下落基調となりました。英国では、3月の小売売上高が市場予想を上回ったことが支援材料となり、前月末比で小幅に上昇しました。

【アジアリート市場】

中国の2012年1-3月期のGDP(国内総生産)が5四半期連続の鈍化となったことをはじめ、一部の経済指標が冴えない内容だったものの、これを受けて中国の金融緩和期待が高まったことから、概ね堅調な展開となりました。シンガポールでは、リートによる良好な内容の決算発表が相次いだことも上昇要因となりました。

米国以外のリートに投資するDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で1.88%上昇しました。

月内の主なオペレーションとして、インベスタ・オフィス・ファンド(オーストラリア・オフィス)の一部売却を行いました。

為替市場

為替市場では、主要通貨に対して円高が進行しました。

このような中、当ファンドの基準価額は1.55%上昇しました。

今後のマーケットの見通しと運用方針

DIAM US・リート・オープン・マザーファンド

消費を中心に一部の経済指標で市場予想よりも改善を示す内容も出ていますが、雇用関連の回復ペースは鈍く住宅関連も引き続き回復感に欠ける状況です。賃料については、住宅およびニューヨーク、ワシントンといった一部のオフィス地区で回復を見せていますが、既に相応な水準まで株価に織り込まれていると見られます。その他の地域、用途については下落率は縮小しているものの、回復までには至っていない状況です。一方、FRB(米連邦準備理事会)は当面は金融緩和的な政策を維持すると見られ、米国リートが低金利の状況を活かし有利な条件で借り換えを行うことはポジティブであることから、財務体質はより強固なものとなっています。

短期的には、現在進行している企業およびリートの決算発表やマクロ経済指標の動向、欧米金融システムの動向に焦点が当たる展開が予想されます。また、需給面では日本の投資信託からの資金流入が他国に比べて相対的に高いバリュエーションを支えている一因と見られ、資金流入の状況に変化が見られるかどうかにも注視する必要があります。

今後も、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがあるリートを選別して投資し、引き続き安定的な配当を維持できるポートフォリオを構築していきます。

DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

欧州では、スペインの財政問題に加え、フランスやオランダの政局に対しての不透明感もあり、依然として欧州債務問題が抜本的に解決したとは言えず、今後も状況次第では変動が激しくなることが予想されます。また、各国の緊縮財政に伴う景気への悪影響、しいてはリート各社の業績への影響も懸念される状況です。また、資金調達環境は依然として厳しい状況であり、財務体質の強化のために物件の売却や再編が進んでいくと見られます。アジア・オセアニアについても、短期的には米中や各国の経済指標や、米中欧日の金融政策に左右される展開が予想されます。一方、ファンダメンタルズについては、中国本土の景気減速の兆しや欧州の混乱の影響がシンガポールおよび香港のオフィス市況に一部見られていますが、国内需要や観光需要を中心とした消費は堅調さを維持している状況であり、シンガポールリートの決算も堅調な結果となっています。また、オーストラリアは、物件の売却や自社株買いが進んでいることが好感されており、今後も同様のニュースが期待されます。また、RBAの利下げ効果が表れてくるかどうかにも注目される所です。

運用方針としては、引き続き保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資していきます。

上記のマーケット動向と各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は7枚ものです。

P.7の「当資料のお取り扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー
追加型投信 / 海外 / 不動産投信
 月次運用レポート (2012年5月)

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口 = 1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、オーストラリア証券取引所の休業日またはオランダ、フランス、イギリスの祝祭日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2007年5月24日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権の口数が10億口を下回るようになった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月9日(休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に2.625%(税抜2.5%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率1.659%(税抜1.58%)を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。) なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

当資料は7枚ものです。
 P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピー・オーナー
追加型投信 / 海外 / 不動産投信
 月次運用レポート (2012年5月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みの際は、販売会社からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したもとの基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください
- < 投資顧問会社 > デービス・セレクトド・アドバイザーズ
コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント

委託会社の照会先

- DIAMアセットマネジメント株式会社
- コールセンター 0120-506-860
(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)
- ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社広島銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号					
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は7枚ものです。

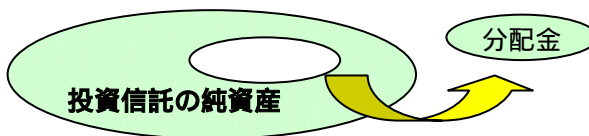
設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

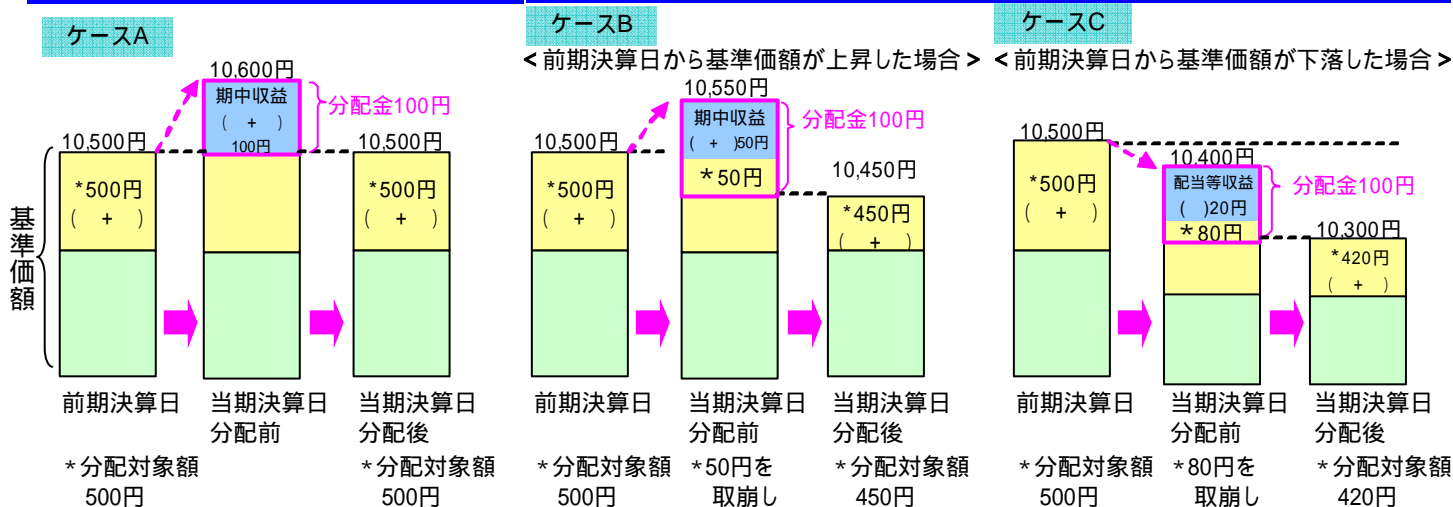
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、有価証券売買益・評価益(経費控除後)、分配準備積立金、収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

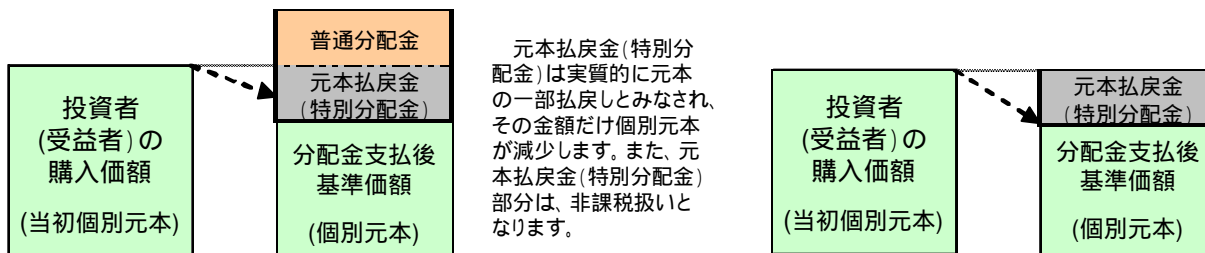
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。